

商業科「簿記」学習指導案

単元名「特殊な手形の取引」

令和7年9月 第1学年 指導者 引田 博志

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、科目「簿記」の(2)取引の記帳 イ 債権・債務と有価証券 に位置し、1学期に学習した第13章 手形の取引 以外の特殊な手形の取引について学習する。約束手形には、商品代金の支払いや、売上代金を回収する手段以外に、様々な取引が存在するため、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける必要がある。

この単元では、約束手形の振り出しや受け取り、手形の割引き、裏書譲渡、書き換え、不渡り、営業外受取手形、営業外支払手形の記帳方法について扱う。商品代金の支払い手段としての二次活用、手形代金の早期現金化のための手形の売却、期日延期に伴う手形書き換えなど、様々な取引を正確に記録するための知識や技術を身に付けさせることが重要である。また、取引を記録することの意義について自らの考えをもつとともに、簿記の原理について自ら学び、適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことも必要である。

2 研究との関わり

本単元は、手形に関する様々な取引を扱うため、生徒から多種多様な疑問が出てくることが想定される。抱いた疑問を自身の言葉で表し、理解を深めるために自ら調べまとめることで、単元への興味・関心を高めることができると考えられる。また、多くの疑問が生徒から生まれ、それを一つのシートにまとめることで、他の生徒が抱いた疑問を協働的に解決したり、自らも新しい疑問として捉えたりすることができるため、本研究にとって、この単元は適していると言える。

また、このような授業形式を継続することで、生徒自らが疑問をもち、学習し続けるという学習習慣の確立と、「なぜ」と「解決」を繰り返す学習活動を通して、疑問の質を高めさせ、自ら考え、追究していけるようにしたい。

3 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技術	・特殊な手形の取引や各勘定の意味を理解し、その記帳方法を習得する。	・1学期に約束手形の振り出しや受け取りについて学習済みではあるが、身近な取引ではないため、理解しきれていない生徒も一定数いる。
思考力、判断力、表現力等	・特殊な手形の取引について自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付ける。	・簿記の授業内で様々な取引を学ぶ中で、生徒にとって身近ではない取引にも興味をもつようになっている。
学びに向かう力、人間性等	・特殊な手形の取引について関心を持ち、自ら調べまとめる。 ・営業手形と営業外手形の違いを理解するために、各勘定科目に関心を持ち、自ら調べまとめる。	・1学期から実施している学習活動を通して、疑問を自然ともつ生徒が増えている。また、多くの疑問を解決していく中で、疑問の質も高まっている様子が見えてくる。

4 評価規準

知識・技術	・特殊な手形の取引や各勘定の意味を理解し、その記帳方法を習得している。
思考・判断・表現	・特殊な手形の取引について自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して自ら調べ、表現する能力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・特殊な手形の取引について粘り強く課題に取り組み、新たな課題に挑戦しようとしている。 ・なぜ営業手形と営業外手形の勘定科目を区別しなければならないのかに関心を持ち、自ら調べまとめる態度を示している。

5 指導及び評価の計画（全4時間：本時第4時）

時間	□学習活動	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価、●評定に用いる評価
1	<input type="checkbox"/> 手形の裏書譲渡に関する取引について理解する。 <input type="checkbox"/> 手形の割引きに関する取引について理解する。	●			◆手形の裏書譲渡（満期日前の手形債権の譲渡）について理解し、仕訳をすることができる。 ◆手形の割引き（満期日前の手形の売却）について理解し、仕訳をすることができる。 <問題集・定期試験（知）>
[单元・題材の学習課題・問い等] 特殊な手形の取引にはどのようなものがあるか？ 特殊な手形の取引を理解しよう。					
2	<input type="checkbox"/> 手形の書き換えに関する取引について理解する。 <input type="checkbox"/> 手形の不渡りに関する取引について理解する。	●			◆手形の書き換え（支払期日の延期）について理解し、仕訳をすることができる。 ◆手形の不渡り（債務者から手形代金が支払われなかった）について理解し、仕訳をすることができる。 <問題集・定期試験（知）>
[本時のめあて・課題等] 手形代金の支払いが難しい（お金が手元のない）時はどうしたらいいのだろうか。					

3	<input type="checkbox"/> 営業外受取手形、営業外支払手形について理解する。 <input type="checkbox"/> 特殊な手形の取引を、理解した知識と記帳方法を活用し、取引を分解し仕訳する。	●			<p>◆ 営業外受取手形、営業外支払手形（営業活動以外の手形での支払い）について理解し、仕訳をすることができる。</p> <p><問題集・定期試験(知)></p> <p>◆ 基本問題、練習問題を活用し、特殊な手形の取引を分解し、仕訳することができる。</p> <p><問題集・観察(知・態)></p>
<p>[本時のめあて・課題等]</p> <p>1. 商品売買、金銭の貸し借り以外にどのような手形があるのか？</p> <p>2. 特殊な手形の取引のまとめ</p>					
4 (本時)	<input type="checkbox"/> 特殊な手形の取引の中で感じた疑問を共有し、分かったことを「課題解決」シートにまとめる。	●	○		<p>◆ 単元内で感じた疑問を生徒間で共有し、教科書やタブレットを活用し、分かったことや学んだことを「課題解決」シートにまとめることができる。</p> <p><共有ワークシート(思・態)></p>
<p>[本時のめあて・課題等]</p> <p>特殊な手形の取引におけるみんなの「なぜ」を解決し、「課題解決」シートにまとめよう。</p>					

II 第4時の学習

1 ねらい 特殊な手形の取引において共有シート（「なぜ」シート、「課題解決」シート）を活用し、「なぜ」と感じた疑問を追究する。

2 展開

主な学習活動 予想される児生徒の反応〔S〕	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (導入5分)</p> <p><めあて・課題等> 特殊な手形の取引におけるみんなの「なぜ」を解決し、「課題解決」シートにまとめよう。</p>	<p>○今回の単元の内容を簡単に復習させる。(教師主導)</p> <p>○今回の単元で疑問に思っていたことを思い出せるように、「なぜ」シートを開かせ自らの疑問を再確認させる。</p>

<p>2 「なぜ」シートの疑問を確認し、自分の疑問と他者の疑問を共有し、今回解決したい疑問を設定する。 (展開①10分)</p> <p>S：①授業で疑問に感じたものはなんだったかな。</p> <p>②他者の疑問を見てみると、自分の疑問以外にも分からないことがたくさんあるな。</p> <p>③授業中に「なぜ」って感じる事がなかったな。</p> <p>3 学習形態を決定する（個人学習か協働学習かを選択する）。</p> <p>S：同じ疑問をもっている人がいないから、グループになれないな。</p> <p>4 「単元として追究させたい課題」を確認する。 課題：「なぜ、受取手形・支払手形と営業外受取手形・営業外支払手形とを分ける必要があるのか。他に分けている勘定科目も挙げてみよう。」</p> <p>S：先生の課題と、自分の疑問が同じだったな。</p>	<p>○自分が疑問に思っていたことと、同じ疑問をもっている人がいないか探すよう促す。</p> <p>○「なぜ」シートの他者の疑問を見て「言われてみれば分からないかも」というような、新たな疑問を発見するよう促す。（②、③）</p> <p>◎個人学習によって各自で疑問を解決するか、同じ疑問をもっている生徒同士で協働学習を行い、疑問を解決するように促す。 (席移動やグループなどは自由とし、個人学習か協働学習かも生徒に選択させる。)</p> <p>○「なぜ」シートの取引ごとのシートを見るように促す。それでも見つからない場合は、個人の課題として個人学習でもよいことを伝える。</p> <p>○単元の学習の中でも、「なぜ」シートを見ても疑問をもつことが難しかった生徒に対して、一つ疑問を与えることで、単元観を考えるきっかけを作る。</p> <p>○「なぜ」シートを見直し、他者の疑問の中から、新しい疑問を探し、課題解決に取り組むよう促す。</p>
<p>5 個人学習もしくは協働学習によって、疑問の解決を図り、分かったことや学んだことを、個別で「課題解決」シートにまとめる。 (展開②25分)</p>	<p>◎今回調べた疑問とその結果を、「課題解決」シートに自分の言葉でまとめるよう促す。</p> <p>○シートはまとめとして単元ごとに作成し、振り返りに活用したり、作成時にも他者が作成したシートを見て学んだりすることができることを伝える。</p> <p>○シートをまとめる際には、記載されていたもの（教科書のページ数やWebページのURLなど）を明記するよう伝える。</p>

<p>S : ①どうやって調べれば答えが出せるのかな。</p> <p>②どうやってシートを作成すればいいのだろう。</p> <p>③Wikipedia や、ChatGPT を使って答えを出せばいいや。</p> <p>④調べてなんとなく答えは分かったけれど、どうやってまとめればいいのだろう。</p>	<p>○教科書やタブレットを活用し、自分たちと同じような疑問が書かれているページがないか探すように促す。</p> <p>○シートに文字を入力する方法を説明する。目的は単元のまとめであり、分かったことや学んだことを入力すればよいことを伝える。</p> <p>○調べる導入として活用することはよいが、そこに書かれていることが事実なのか、再度調べたり、自分の言葉で表現しなおしたりすることが必要であると注意を促す。</p> <p>○正しいと考えられる調べた内容をそのまま入力してもよいと促す。ただし、必ず出典元を明記するよう伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆評価項目</p> <p>単元内で感じた疑問を生徒間で共有し、教科書やタブレットを活用し、分かったことや学んだことを「課題解決」シートにまとめることができる。</p> <p style="text-align: center;"><共有ワークシート（思・態）></p> </div> <p>○まとめが終わった生徒は、他者が作成したシートを見るように促す。</p>
<p>6 「単元として追究させたい課題」の答え合わせを行う。 (終末 10分)</p> <p>解答：商品売買や金銭の貸借などの「営業活動」と、備品購入などの「営業外活動」を明確に分けるため →企業の経営分析をより詳細に行うため (本業の収益性を把握しやすくするため)</p>	<p>○「単元として追究させたい課題」に対する解答を提示し、内容を確認した上で、加筆したり、修正したりするよう促す。</p> <p>○生徒が作成したシートを一部紹介し、疑問に感じた点やそれを調べた内容、シート作成上の工夫などを称賛する。</p>

3 板書計画

<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」シート (Microsoft Excel) … Microsoft Teams の共有機能を活用し、クラスの生徒全員が同時に編集でき、他者の疑問も見ることができる状態にする。 ・「課題解決」シート (Microsoft PowerPoint) … Microsoft Teams の共有機能を活用し、クラスの生徒全員が同時に編集でき、他者の解答やまとめた文章を見ることができる状態にする。
--

思考・判断・表現 評価Bの例

課題解決ワークシート 評価Bの例

自己課題：自分の疑問（例）

疑問 借用証書と手形で金を貸す違いは？

答え 借用証書…長期借入に向いている、複雑な条件（期間、利率、返済方法など）を示すことができる、担保や保証人が必要な場合がある

手形…事務手続きが簡単、審査機関が短い（すぐに借りられる）、返す時に当座預金口座にお金を入れておく必要がある、手形の期限が1年以内のことが多いため長期の借入には向いていない、返せなかった時のリスクが大きい など

共通課題：先生の疑問

疑問 なぜ、受取手形・支払手形と営業外受取手形・営業外支払手形とを分ける必要があるのか。他に分けている勘定科目も挙げてみよう。

答え 商品売買や金銭の貸借などの「営業活動」と、備品購入などの「営業外活動」を明確に分けるため→企業の経営分析をより詳細に行うため（本業の収益性を把握しやすくするため）
売掛金、買掛金と未払金と未収入金 など

評価の観点

- ・自分が設定した疑問に対して、調べた結果を端的に表現できている。（評価B）
- ・見やすくするために画像や表などを挿入したり、理由などがはっきりと書かれていたりする場合は評価をAとする。

（例：借用証書は借入期間や利率などの複雑な条件を契約書に記載できるため、1年以内に返済期限がくる手形よりも長期借入に向いている。 など）

本指導案に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、各社の商標又は登録商標です。

Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、Microsoft Teamsは、Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標又は登録商標です。なお、本文中には™マーク、®マークは明記していません。